

添削ワークシート(志望理由書編)

この文章は600字以内で作成された志望理由書(専門学校志望)です。以下【1】【2】の問いに答えなさい。

【1】①～⑮の下線部や括弧()は、文章の書き方や内容に関する誤りを含みます。それらの誤りを添削欄で指摘し、どのように修正すべきかを記入例や①を参考に書きなさい。なお、同じ番号が複数ある場合は、同じ種類の誤りを意味します。

(記入例)

「原稿用紙」	「添削欄」
作業を <u>テキパキ</u> 行う必要がある。	話し言葉(迅速に)

- ↑ 「テキパキ」は話し言葉なので、適切な書き言葉(「迅速に」)に修正しています。
- ↑ 修正の文言は、原稿用紙上の下線部や括弧の近くに記述しても構いません。

【2】この文章を構成する4つの段落の中で、以下の役割を持つ段落はどれか答えなさい。

- 自分自身の経験を通じて進学の意味や目的を説明する。 _____ 段落
- 志望校への入学意思を表明する。 _____ 段落
- 志望理由を踏まえ、将来への意欲や展望を述べる。 _____ 段落
- 目的を実現する環境である、志望校への理解度を表現する。 _____ 段落

(第一段落(序論)／第二段落(本論①)／第三段落(本論②)／第四段落(結論)から)

髯さんぽう

高校名①	都立東京第一学園高校 <small>東京都立第一学園高等学校</small>				
学年	3年	クラス	2組	出席番号	14
氏名	東京 太郎			問題番号	

志望先記入欄(学部・学科(コース)名まで記入)	
第一志望	A 専門学校 製菓・製パン科
第二志望	B 専門学校 製菓・製パン科
第三志望	C 専門学校 パライソ工科

第一志望先への志望理由を述べなさい。

②私は将来、私が焼くパンを通して顧客に喜びを届けられるパン職人になることが夢です。その目標を実現するために③御校を志望します。

④高校時代、製パンは趣味の一つでしたが、高校2年の頃に生活を意識し、料理をはじめとする家事に取り組み、その一環で行ったパン作りに対する周囲の反応にやりがいを感じ、将来の職業として志すようになり、その後⑤パン屋に通い、パンの味や見た目だけでなく、新商品の開発や陳列、接客にも⑥お客様に入店したいと⑦思っていた。⑧ただの工夫があることに⑧気付いた。

③御校の製パンコースを(志望した理由は、本格的な製パンの知識や技術だけでなく、それらをお客様に提供する際の考え方を学ぶ機会が⑩たくさんあります。⑨)製パンの授業では、⑪実習時間がとても多く、その中で調理の知識や技術を習得できます。出席日数が厳しく評価されますが、それによりパン職人に必要な⑫体力であったり、時間への正確さを⑬身に付けられると考えています。そして、(⑭そこまで充実したカリキュラムである一方で、授業料が他の学校に比べて安価であることも魅力的です。進学にあたり奨学金制度を利用することも考えましたが、③御校であれば無理なく通うことができると考えています。⑭)

③御校で調理と⑮接客を学び、一人前のパン職人になることを目指します。そして、やがては⑥お客様に喜びを提供できるパン屋を経営したいと考えています。

<添削欄>

- ① 高校名は正式名称で書く
↓ (東京都立第一学園高等学校)
- ②

200字

400字

600字

800字